

建設省土木研究所 正 天野 光一
建設省土木研究所 正 篠原 修

図1はじめに 従来、景観の研究は主としてスタティックなおつかけが多かったように思われる。それに対して本研究はダイナミックなおつかけを試みている。すなわち、本研究は、街路景観の変遷を把握する方法を明らかにし、その変遷をデザインはコントロールする手法を提案しようと試みたものである。

図研究対象 本研究は、対象として銀座中央通を採用した。その理由は以下の点である。第一は、長い歴史をもつ街である事、本研究は明治以降に着目している。第二には、日本の代表的な街路の一つである事、この事から記録、文献も多くあると予測できた。第三には都市のイメージを代表している、都市の顔ともいふべきメインストリートであり、他にもこのようなメインストリートが多く存在している事、この事から、本研究のある程度の普遍性があると思われる。

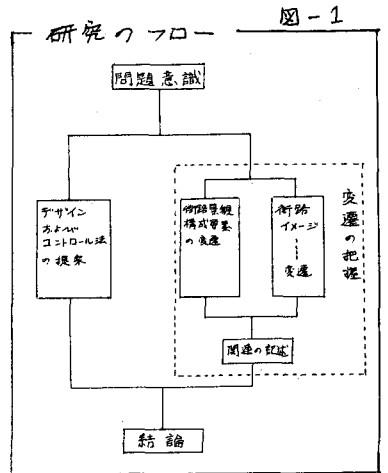
図研究方法 本研究は図-1に示すフローで行なった。街路景観の

表-1 <街路景観構成要素の変遷>

明治	大正	昭和
6年 歩道の舗装 7年 歩道の舗装 7年 歩道の舗装 21年 歩道の舗装 21年 歩道の舗装 21年 歩道の舗装	10年 歩道の舗装 11年 歩道の舗装 11年 歩道の舗装 12年 歩道の舗装 12年 歩道の舗装 12年 歩道の舗装	17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装
6年 歩道の舗装 7年 歩道の舗装 7年 歩道の舗装 21年 歩道の舗装 21年 歩道の舗装 21年 歩道の舗装	10年 歩道の舗装 11年 歩道の舗装 11年 歩道の舗装 12年 歩道の舗装 12年 歩道の舗装 12年 歩道の舗装	17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装 17年 歩道の舗装

表-2 <街路イメージの変遷>

明治	大正	昭和
・場末 ・建具街 ・バザールに注目 ・繁華 都中の都 ・夜店 一入市場 ・瓦斯灯ともる夜の散策路 ・新聞社街 ・卸工場のある街 ・柳並木のある街 ・「銀ブラ」の発祥 ・服部の時計塔 ・異国的 ・安直で見えのする 複製品のハイカラ ・西欧風建物 ・銀座川 (水はけが悪い) ・「銀ブラ」の一般化、散歩街 ・屋デパート、夜カフェ ・大カフェ林立 享樂的、淫靡 ・産業の市 ・米軍人のいる街、街娯、浮浪児 ・生活感のない街 ・ネオン銀座の夜 ・歴史ある街 ・包容力のある、やすらぎを感じる街 ・何うな街	・場末 ・建具街 ・バザールに注目 ・繁華 都中の都 ・夜店 一入市場 ・瓦斯灯ともる夜の散策路 ・新聞社街 ・卸工場のある街 ・柳並木のある街 ・「銀ブラ」の発祥 ・服部の時計塔 ・異国的 ・安直で見えのする 複製品のハイカラ ・西欧風建物 ・銀座川 (水はけが悪い) ・「銀ブラ」の一般化、散歩街 ・屋デパート、夜カフェ ・大カフェ林立 享樂的、淫靡 ・産業の市 ・米軍人のいる街、街娯、浮浪児 ・生活感のない街 ・ネオン銀座の夜 ・歴史ある街 ・包容力のある、やすらぎを感じる街 ・何うな街	・場末 ・建具街 ・バザールに注目 ・繁華 都中の都 ・夜店 一入市場 ・瓦斯灯ともる夜の散策路 ・新聞社街 ・卸工場のある街 ・柳並木のある街 ・「銀ブラ」の発祥 ・服部の時計塔 ・異国的 ・安直で見えのする 複製品のハイカラ ・西欧風建物 ・銀座川 (水はけが悪い) ・「銀ブラ」の一般化、散歩街 ・屋デパート、夜カフェ ・大カフェ林立 享樂的、淫靡 ・産業の市 ・米軍人のいる街、街娯、浮浪児 ・生活感のない街 ・ネオン銀座の夜 ・歴史ある街 ・包容力のある、やすらぎを感じる街 ・何うな街



変遷の把握については、街路景観構成要素 表-3 <関連の記述>

の変遷、街路イメージの変遷をそれぞれ把握し、その両者の関連を記述するという形で行な。た。街路景観構成要素の変遷については、街路の断面構成及び舗装、街路樹、路上工作物、交通機関、街路沿いの建築物の五種にわけ、それぞれ、過去の文献、記録、写真等によ。て把握を行な。た。その結果をまとめたものを表-1に示す。街路イメージの変遷の把握については、過去の小説、銀座を描いている文献、歌謡曲等において、どのように描写されているかを調べ、各時代のイメージを把握し、その後、その変遷を捉えるという形で行な。た。その結果をまとめたものを表-2に示す。この両者を考える事によ。て、街路景観構成要素の変化が、

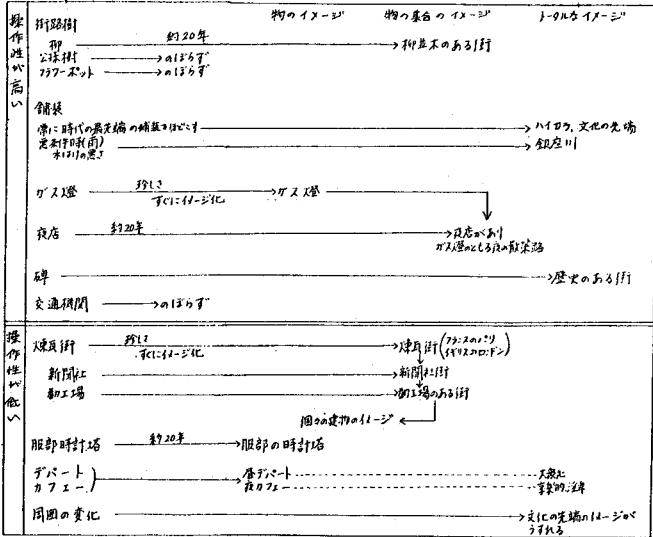


図-2

街路イメージの変化にどのように影響を与えているかを捉え、関連の記述を行な。た。その結果をまとめたものを表-3に示す。変遷のデザイン及びコントロール法については、意図している景観の形成に関する手法と、達成されている景観の質の保持に関する手法とにわけ、それぞれ手法を提案した。一例として図-2に布石という手法を示す。これは本来空間的な手法である布石を時間的にみなおす事により、変遷のデザイン法として提案したものである。その他提案したものは、まとめたものを表-3に示す。

□結論 街路景観の把握については、本研究で採。た。過去の文献等の調査による手法がある程度有効である事が明らかになったと思われる。デザインおよびコントロール法については、提案したもののについてすべて

銀座中央通のケーススタディにおいて検証できなかった。た。ケーススタディを重ねる事により検証可能と思われる。又、土木技術者の操作可能な部分のデザインはコントロールにより、街路景観の変遷をある程度操作できる事が明らかになったと思われる。この事から土木技術者の果たすべき役割は大きいと言えよう。

表-3 <デザインおよびコントロール手法>

CASE	手 法	銀座通りにおける実例
Case 1 意図している景観の形成 ・質の向上 ・調和 ・蓄積 開発計画 再開発計画	○布石 — Keypointをおさえる → シンボリック要素 — 統合化可能な要素の導入 — Nodeとしての交差点の重視 ○さかひ：質の向上する素材の使用 ○伏線をはる △遊びの奨励 — フェードの統一性	— 服飾の時計塔 — 煉瓦修繕 — 柳並木 — 柳 — 夜店 — ガス燈
Case 2 達成されている景観の質の保持 ・歴史性 ・個性 (街のイメージ) 保全計画 再開発計画	○時間標識の導入、保存 △地名の保持 △シンボリック要素の保存 △イメージとして定着した要素の保存 △街路線形、幅員の保持	— 碑 — 銀座ハ丁 — 舗装

(○ ... デザイン的手法
△ ... コントロール的手法)